

## 蒲生干潟周辺の塩分濃度 68

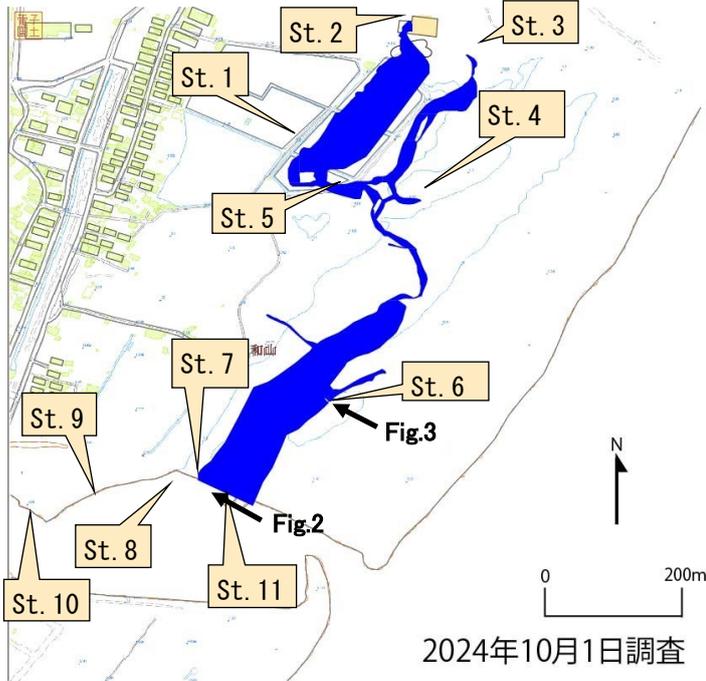


Fig.1 2024/10/1 採水点

Table.1 2024. 9月 塩分濃度(%)

採水点	2024 10/1	2024 9/1	増減	2023 9/20	増減
St. 1	1.3	1.8	-0.5	1.8	-0.5
St. 2	1.3	1.5	-0.2	1.9	-0.6
St. 3	1.1	-	-	2.1	-1.0
St. 4	2.1	2.6	-0.5	2.6	-0.5
St. 5	1.9	2.3	-0.4	2.5	-0.6
St. 6	2.4	2.5	-0.1	2.9	-0.5
St. 7	3.1	2.4	0.7	3.0	0.1
St. 8	3.2	2.4	0.8	3.1	0.1
St. 9	3.2	0.4	2.8	1.6	1.6
St. 10	3.1	0.4	2.7	0.8	2.3
St. 11	3.3	1.1	2.2	2.1	1.2

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 河口から水が流入する様子



Fig.3 南東潟湖の接続の様子

調査日時：2024年10月1日（火）13:00~14:30（満潮 15:17 潮位 142cm），天気：晴れ

9月下旬の調査日を延期し、10月1日に9月分の調査を行った。満潮に向かう時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2024.9月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2024.8月，2023.9月）結果と比較した。

潟湖全体の水量は少なかったが、干潮に向かい大量の水が河口から流入していた（Fig.2）。南潟湖の中央付近は、徐々に水量が増加してく状況であったが、南東潟湖とはすでにしっかりと接続していた（Fig.3）。塩分濃度は、潟湖内のSt.7を除いて、すべてのポイントで先月よりも低い値を示した。St.7については、河口の塩分濃度とほぼ同等の値を示していたため、河口からの水の流入の影響を受けたと考えられる。昨年との値と比較すると、先月との比較と同様に、潟湖内ではSt.7以外のすべてのポイントで昨年よりも低い値を示した。

（沼尾和弥）